

はっぴい

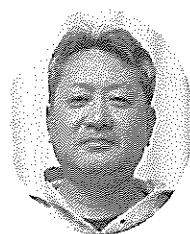
第 80 号

編集・発行
白山高等学校PTA

印刷
伊藤印刷株式会社

2025. 7

ご挨拶



PTA会長 野田 年延

令和七年度白山高校PTA会長を務めさせて頂きます野田年延と申します。

先日は総会での承認ありがとうございます。

新年度がスタートし生徒達と一緒に楽しませて頂く最初の行事、体育祭!! 梅雨入りし開催が危ぶまれましたが

生徒達の想いが通じ無事に開催する事が出来ました。

一人ひとり笑顔で楽しそうに、一所懸命に走る姿、力一杯綱を引く姿、声を張り上げ応援する姿、どれも新鮮で生き生きとした生徒達を見て感動しました!!

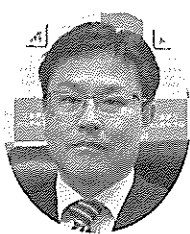
また今年は全国高等学校PTA連

合大会がここ三重県で八月に開催されると言う事で県内全ての公立高校がそれぞれ担当を持ち企業様と協力しあって催し、展示、物産販売等行う一大イベントとなっております。各校、大成功を目指して一致団結して準備しております。

最後になりますが、私もPTAとしまして白山高校の生徒達と共に地域の方々と協力しあいみんなが楽しく笑い合えるような環境を作り上げて行けるよう、皆様のお力添えを賜りたくお願いして挨拶とさせていただきます。

一年間どうぞよろしくお願い致します。

ご挨拶



校長 伊藤 毅

盛夏の折、PTA会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今春、白山高等学校に着任いたしました校長の伊藤毅で

す。どうぞよろしくお願いいたします。年度当初の入学式および始業式では、生徒のみなさんに、「高校生活の目標は、『自立した大人』に近づくこと」であること、そして「そのために『考える習慣』を身につけよう」と

いう話をしました。さらに、そのような力は日々の学習が基本単位であることから「授業を大切に『する習慣』を呼びかけています。過去と比して現代は不確実性や流動性の高い社会だといわれますが、日々の学びを着実に積み重ねていくことが未来を生きたる生徒たちにとって大切な礎になることは不変です。教職員と保護者、そして地域が、「日々の学び」の大切さを共



通理解して連携することで、生徒が自分の可能性を最大限に発揮し、夢を追い求めることができる環境が維持できると考えます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

保護者、地域住民、さらに有識者の方々から学校運営に関してご意見やご助言をいただく「コミュニティスクール」である本校にとって、地域の方々との交流や体験的学習はまさに学校の教育活動の柱であり、四半世紀以上続く本校の伝統の一つでもあります。

今年度も地域の方々や施設、事業所様にお世話になり、生徒のさまざまな学習活動の機会を提供していただいています。またそのお返しとして、高校生の柔軟な発想と行動力で、地域の活性化や課題解決のお手伝いができるような企画を展開することも目指しています。特に、「総合的な探究の時間」での学習活動や生徒会活動を中心として、地域とコラボした企画や行事がすでに始まっています。六月の地域の清掃活動「家城クリーン作戦」には多くの生徒がボランティアとして参加しました。今年度も、地域の行事や中学生向けの学習アシスタント等、本校生徒が活躍する場面が続きま



す。詳しくは本校のホームページまたは公式インスタグラム等でも随時お伝えしていきますので是非ご覧ください。

学習面のほか、部活動においても今年度すでに素晴らしい成果がありました。陸上競技部の投擲種目では一名の生徒が県総体入賞を果たしました。ボクシング競技に取り組み生徒は三重県代表として六月の東海総体に出場しました。レスリング競技の三名は全国インターハイの出場権を得ており、今夏に島根県で開催される大会に出場します。あわせて、レスリング競技に取り組む生徒のうち一人はU17日本代表としてアジア選手権大会にも出場します。この文章をお読みいただくころには結果が出ていられると思いますが、硬式野球部は三年生にとっては最後の夏の大会に臨みます。校内、校外を問わず、真剣、真摯に競技に取り組む生徒の姿を誇らしく思います。

日々の活動に頑張っている生徒と同様に、本校の教職員も「チーム白山」を合言葉に日々の業務に真摯に取り組んでいます。一方で、子どもたちのために教職員がより良い環境で働くことができるよう、業務の効率化や勤務時間の縮減など働き方の見直しも進めております。教職員が安心、安全に職務に励むことができる環境や

体制を維持することは、生徒一人ひとりにより丁寧に向き合い、質の高い教育を提供することにつながります。昨今よく話題になることですが、「教職員の働き方改革」にもご理解とご協力をお願い申し上げます。最後になりますが、子どもたちに

各分掌より

教務部

「白山高校の教育」

教務主任 野田 真司

平素は白山高校の様々な教育活動にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼を申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

本校では、学校が取り組む姿勢として「あいさつ・ルール・美化の三つの言葉を核に進める」というのがあります。教務部としても、「一、きちんと挨拶ができる。」「二、時間を守り、身の回りの整理・整頓、掃除などができる。」「三、相手の気持ちを考えて、ルールを守り適切に行動することが出来る。」「三つの目標を掲

とって最良の教育活動の展開を目指すうえで、PTAのご協力とご理解は欠かすことができません。子どもたちが「自立した大人」に近づいたためのサポートを、学校、地域と一緒に頑張ってまいります。お願い申し上げます。

げて取り組んでいます。また、卒業後の進路希望をかなえられるように、また、社会人にふさわしい知識や態度の形成のため、三年間の授業を中心とした学習活動をはじめ、部活動、生徒会活動などいろいろな活動を通して進めています。

日々の授業の時間を大切に、少しでも生徒にとってわかりやすい授業ができるよう、『ユニバーサルデザイン』の授業を行うことに力を入れていきます。また、一年生のはとんどの科目の授業で、クラス・学科を分割した授業、TT（チームティーチング）の授業を行い、きめ細かい指導とともに、落ち着いて授業を受けられる環境づくりを進めており、生徒が安心して授業を受けられるように取り組んでいます。



授業風景①
(1年：総合的な探究の時間)

また、総合的な探究の時間では、本校の教育目標である「地域を愛し、地域の活性化に貢献できる若者の育成」に沿って、各学年で様々な活動をしています。一年生では、一人一台端末の使い方を学習し、教科学習や調べ学習に活用することで、学習することの意義や「生きる力」について考えさせる授業を行っています。二年生では、「地域課題解決型学習」を主たるテーマに、「ヒト・モノ・シゴト、白山自然・観光・歴史、名松線、安心・安全なまちづくり、農業・食品、人助け」の六分野に分かれ、それぞれの分野の視点から地域の課題解決や活性化についての活動を行っています。三年生では、地域の事業所の皆さんにご協力をいただき、年



授業風景②
(3年：インターンシップ)

間を通してのインターンシップを実施しています。また、面接指導、作文指導にも力を入れ、生徒の希望する進路が実現できるように取り組んでいます。令和四年度の学習指導要領の改訂に伴って、新しい教育課程による授業が行われています。授業の中身や求められる力が変わり続ける中、ICT機器を活用する授業など、生徒にとってより充実した授業を行えるように、今年度も様々な取組をしているところです。このような学習活動を通して、生徒が成長することを願い、生徒の意欲に応えるためのサポートをさせていただきますので、今後ともご協力をお願いいたします。

生徒指導部

生徒たちの「生きる力」の育成に向けて

生徒指導主事 諸木 康真

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、私たち生徒指導部では、「社会に出て生きていく力」の基礎を、日々の学校生活の中で育てていくことを大切にしております。そのためには、学力の向上だけでなく、基本的な生活習慣、他者との関わり方、そして物事に対する姿勢が重要であると考えております。

近年では、コミュニケーション力やマナー、自己管理能力などが、社会で求められる力として注目されており、生徒の皆さんが将来、さまざまな場面で自立して判断し、行動できるよう、以下のような点を日頃から指導しております。

- ① 自己管理能力…自分自身をコントロールする能力
- ② 自己指導能力…どのような行動が適切であるか自分で考えて、決めて、実行する能力
- ③ 社会人基礎力…多様な人々と

もに、共感し、協力していくことができる能力

これらは、将来どのような職業や立場につくとしても、社会人として必要不可欠な力です。本校では、教職員一同、共通理解のもと、日々の声かけや指導を丁寧に行っております。

ご家庭でも、日々のお子様の様子についてお気づきの点やご不安なことがございましたら、どうぞ遠慮なく学校へご相談ください。

今後も学校と保護者の皆様とが連携し、子どもたちの健やかな成長を支えてまいりたいと考えております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



進路指導部

白山高校の進路指導

進路指導主事 塩谷 正雄

令和七年度を迎え、本校進路指導部では、生徒一人ひとりが自らの将来を主体的に考え、社会で活躍できる力を育むための取り組みをさらに充実させています。現代社会の変化に対応するためには、単なる知識の習得にとどまらず、自己理解と職業観の形成が不可欠です。私たちは、生徒が自分の可能性を発見し、将来の選択肢を広げられるよう支援しています。

今年度の新たな取り組みとして、企業の方々にご来校いただき、生徒に望む力や企業の魅力についてアンケートを実施しました。十項目の選択肢から三つを選んでいただき、具体的なアドバイスを頂戴することで、進路指導の内容をより実践的なものへと進化させています。これらの情報はPDFにまとめ、生徒の一人一台パソコンに配信し、保護者の皆様とも共有できる仕組みを整えました。「白山高校生ぜひ来てほしい」という気持ちで来校されていることから、頂いた情報は生徒にとって価値ある選択肢となると考えています。

また、企業の方々には、生徒に直接企業紹介をしていただく機会も設けており、実際の職業や業界についての理解を深める貴重な場となっています。こうした取り組みは、生徒が自分の将来を具体的にイメージし、進路選択に自信を持つための大きな助けとなります。

文部科学省が示す「キャリア教育の充実」にも対応し、学校全体での取り組みを強化しています。授業だけでなく、学校行事や地域連携活動を通じて、コミュニケーション能力、課題解決力、協働性など、社会で求められる力を育む機会を提供しています。教員も定期的な研修やワークショップを通じて最新の教育手法を学び、生徒の成長を支える体制を整えています。

私たちの目標は、生徒が卒業後も自ら学び続け、社会に貢献できる人材として成長していくことです。そのため、進路指導部は今後も地域や企業と連携しながら、より良い教育環境の構築に努めてまいります。保護者の皆様には、日頃より温かいご支援とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも、生徒の未来を共に支えていけるよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

保健部

保健部より

日頃より、お子様の健康管理ならびに本校の保健活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本校の保健室では、健康診断、健康相談、応急処置を行っております。その他の活動としまして、性に関する指導、命を大切にする教育なども実施しております。

暑さが一段と厳しく、熱中症対策が重要な季節となっております。先日の体育祭では、各クラスの保健委員が中心となり、自作のイラストを用いて、熱中症事故防止を呼びかけ、安心安全な体育祭の実施と健康意識の向上に貢献する取り組みを行いました。今後も、生徒自身の力を活用し、健康を守る活動を継続していきたくと考えています。

また本校はスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拠点校となっております。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの面談は、保護者の方のご利用になれます。お子様の気になる様子や心の悩み、また保護者の方ご自身の子育ての悩みにも、相談をお受けいたします。専門的な知見をお持ち

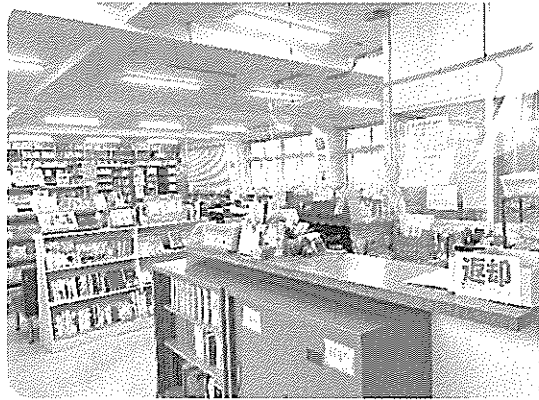
の各先生方とともに、お子様の学校生活を支援させていただきたいと考えております。

夏季休業中のスクールカウンセラーの来校日は七月二十三日（水）九時から一四時を予定しております。面談を希望される場合は、担任または保健室までご連絡ください。今後とも、白山高校保健部の活動に、ご協力よろしくお願い申し上げます。



図書館

図書館より



(概要)

蔵書数：約一六、二〇〇冊
新聞：三誌
雑誌：十誌
検索・学習用パソコン：二台
座席数：三十六席
貸出冊数：一〇冊まで
貸出期間：二週間

白山高校図書館は二棟三階に位置し、クラスの教室と近いため、授業の間の休憩時間にも生徒が気軽に来

館します。読書や勉強、電車待ち、くつろぎの場所として利用されています。

学校図書館は、読書相談や生徒が本に親しむように取り組んでいます。六月に「梅雨の読書キャンペーン」、七月に「白山高校生に読んでほしい本」の冊子の発行、秋の読書週間に「図書委員のおすすめ本」の展示などを行います。また、調べ学習などで、授業でも利用されています。

本校図書館の蔵書は、生徒を通じて保護者の方でもご利用いただけます。ホームページにて、新着図書案内を掲載しておりますので、また、ご利用ください。



硬式野球部

私達白山高校野球部は、現在三年十二名、二年十二名、一年七名、マネージャー四名の計三十五名で日々の練習に励んでいます。

新チームとして臨んだ秋季三重県大会では、一回戦、二回戦と厳しい試合を粘って勝ち抜き、準々決勝で夏の甲子園出場校である菰野高校と対戦したのですが、投打ともに圧倒され、ベスト八という結果となりました。

悔しい思いを胸に、冬の間は、体づくりを中心に、守備・バッティングの基礎をしっかりと練習しました。校外へ出て階段や坂道を使ってトレーニングをしたり、海岸へ行ったり走り込みをするなど、様々な方法で体を鍛え、一冬で大きく成長することができました。

そして迎えた春季大会でしたが、地区予選で津東、津工業に連敗し、県大会出場を逃してしまいました。チームでミーティングを重ね、夏



部活動の紹介



の大会に向けてどんなチームにしていくのか、どこを目指すのかということを確認する時間を取り、自分たちが持っている良さを生かして、もう一度一から甲子園に行けるチームを作ろうと決めました。

現在、三重県大会頂点を目指して日々練習に励んでいます。練習が出来ることの喜びや仲間と白球を追う時間の尊さをかみしめながら、応援してくださっている方々への恩返しとして、今自分たちに出来ることを精一杯打ち込み、応援してくれる全ての方に感動を与えられる試合が出来るよう頑張っています。

保護者やOBの方々、そして地域の皆様には、日頃から白山高校野球部の活動にご理解ご協力を賜り、部員、顧問一同、深く感謝いたしております。部員達には、高校野球に携わる者として、野球を通して、人としても大きく成長してもらいたいと願っています。最後の大会、チームの力を一つにして一戦必勝で勝ち進み、甲子園出場を果たせるよう頑張ります。今後とも、応援よろしくお願いたします。



陸上競技部

本年度陸上競技部は、男子八名・女子五名の計十三名で活動をしています。

トラック種目は百m・二百m・四×百mリレー、フィールド競技は砲丸投・円盤投・ハンマー投・走幅跳の種目で今年も全員自己新・東海大会出場・全国大会出場を目標に日々の練習を重ねています。

『陸上競技をするのは、目標を達成して自分が喜ぶと同時に、家族や仲間を喜ばせ、地域や学校に刺激を与えることが目的』という白山高校陸上競技部の活動方針のもと、今シーズンも頑張っていると思います。四月の南勢地区記録会では、残念ながら短距離など雨で中止になった競技もありましたが、砲丸投では二名の選手がデビュー戦でした、円盤投では二年生の伊藤が自己記録を更新することが出来ました。走幅跳でも二年生の田口が自己記録を更新することができ、部員たちが緊張しながらも練習の成果を発揮できるようこれから期待したいです。

五月の県総体では伊藤が男子円盤投でさらに自己記録を伸ばし八位に入賞し、東海総体に出場するという

目標まであと少しというところでした。百mでは前回の南勢記録会での雨で出場できなかった一年生もデビュー戦を経験し、田口は公認記録での自己新を記録しました。また、マネージャーや競技のない選手達で大会補助員や撮影・応援などを協力して動いてくれました。自己新を更新できた嬉しさと後一步届かなかった記録に対する悔しさとを経験することができた三日でした、この気持ちを忘れず三重県選手権・県高校新人大会にぶつけてもらいたいと思います。シーズン前半が終わり、冬期練習からの目標を達成できた者や、達成までもう少しというところで悔しさを感じた者、練習に対する意識を高めるきっかけを得た者、それぞれが次の大会や秋のシーズンに向けてモチベーションを高めるきっかけになったと思います。



今後の大会予定

三重県陸上競技選手権大会（伊勢）

七月十二日（土）～十三日（日）

東海陸上競技選手権大会（伊勢）

八月二十三日（土）～二十四日（日）

三重県高校新人大会（四日市）

九月二十日（土）～二十一日（日）

東海高校新人大会（草薙）

十月二十五日（土）～二十六日（日）

バスケットボール部

男子バスケットボール部は現在三年生二名、二年生二名、一年生二名の計六名で日々の練習に励んでいます。バスケットは五人選手が居ないと大会に出場できないのですが、今年度行われた県総体地区予選前には、一年生が入部しないと大会に出場できないという状況で、二名が入部してくれ、入部して一週間たらずして公式戦に出場する、という大会前から心休まることなく迎えた大会でした。試合結果は一回戦敗退、県大会への出場はできませんでした。正直、大会前には試合に出られるだけで満足だ、という感情が少しありました。しかし、人数も少ない中で日頃から練習に取り組む彼らの責任感や諦めない気持ちは人一倍でした。試合中、最後まで諦めずプレーし続ける姿に顧問の私が涙しそうになってしまいました。試合後には、試合を見ていた先生方から、「感動した。」

「すごく良いチームだ。」「一緒に練習試合や合同練習をしましょう。」とお褒めの言葉やたくさんのお誘いをしていただきました。

日頃から生徒たちには、『おもしろい人になる』『応援されるチームになる』と伝えています。生徒たちが自分自身とチームに目を向け、勇気を出して思った事を発信したり、その発信を受け止めたり、嫌な事から逃げずに我慢したりと、『おもしろい』の心を持って日々、学校生活や練習に取り組んでいる姿・頑張りを多くの人に認めてもらえた瞬間だったと思います。また、最後まで諦めない強い気持ちの人が心を動かしたと思います。これは『応援されるチーム』への第一歩だと思います。結果は負けてしまいましたが、勝ち負けなんて比にならないくらい、すごいものを得た大会だったと思います。生徒たちの日々の頑張りや、信念は必ずこれからの人生の武器になると信じています。

【我以外、皆我師なり】自分以外の、人でも物でも皆、自分に何かを教えてくれる先生だという意味です。バスケットがうまくなるためにも、また人として成長するためにも、人の話を素直に聴き、受け入れることが大切。そんな心の持ち主になってほ

しい、そんな思いも含め、バスケットボール部の部員には日頃から、前述したように『おもしろい』『応援されるチーム』に加えて、『当たり前前に感謝する』ことを口酸っぱく伝えていきます。



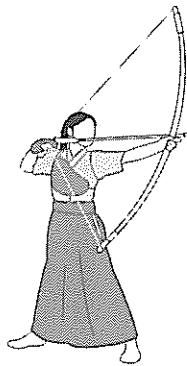
七月からはリーグ戦がはじまり、九月には三年生最後の大会となる選手権予選がはじまります。目標は初戦突破です。県総体での悔しさや、お世話になっている方々の応援を胸に、さらなるレベルアップを目指し、日々練習に取り組んでいます。

保護者の皆様には、日頃からバスケットボール部の活動にご理解とご協力をいただき深く感謝いたしております。また、OB、先生方の応援や支援があつてこそ現在のであると肌で感じており、部員、顧問一同深く感謝しております。

初戦突破という目標を掲げ日々の練習に励み、様々な方から応援されるチームを目指していきたいと思えますので、引き続き応援、ご支援の程よろしくお願い致します。

弓道部

弓道部は、三年生四名、二年生三名、一年生三名の計十名で活動しています。各種弓道大会への出場と、段位の取得を目指して日々練習しています。本校の弓道部員は全員が初心者です。外部指導者の先生や上級生からの指導のほか、部員どうしがお互いの射について助言し合うことなどを通じた技術の向上を目標としています。種目の特性として、弓を引く瞬間は自己と向き合うことになります。その一方で、団体戦においては他者と協力することも求められ、選手、応援の生徒を含めた部員全員で作り上げた雰囲気、試合の結果に大きく影響します。



四月の春季大会と六月の三重県高校総体に向けては、部員それぞれが大会で達成したい目標を立てて日々の練習に取り組んでいました。これからの正射必中を目指した弓道部での活動を通して、主体的行動や他

者貢献できる力を培っていききたいと考えています。

最後になりましたが、弓道部の活動につきまして、日頃よりご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

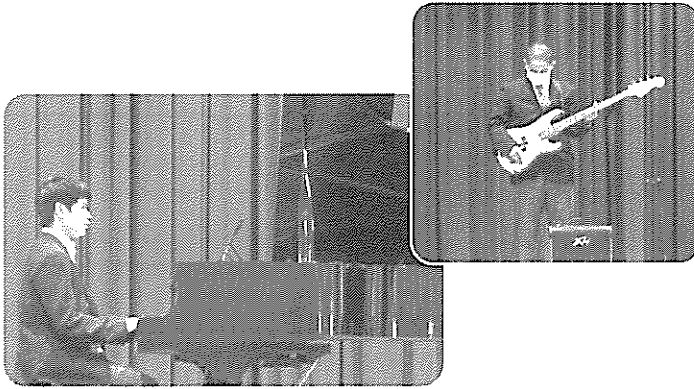
サッカー部

サッカー部 男子三名 女子一名
マネージャー二名の計六名で活動しています。県総体等の大会には合同チームとして参加しています。また、五月末ごろからはリーグ戦にも参加しています。その他、試合のない週は、尾鷲高校まで行つて合同練習に頑張っています。七月も十二日(土)、十九日(土)、二十六日(土)と合同練習が組まれています。できるだけ参加したいと考えています。部員が少ないので白山高校として大会に出ることはありませんが、選手は頑張つて毎日活動しています。



吹奏楽部

吹奏楽部は現在三年生三名、一年生二名で、月曜日から金曜日まで活動しています。「吹奏楽部」とはいうものの、ピアノとベースのコンビを主とした編成で、金管を練習している一年生に期待が掛かっています。部の存続が危ぶまれているのは毎年恒例のことですが、地道に活動を続けていきたいと考えています。



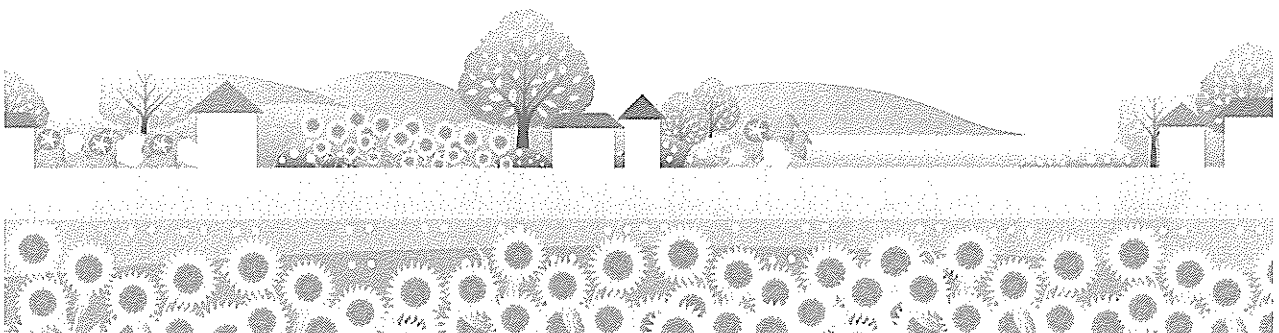
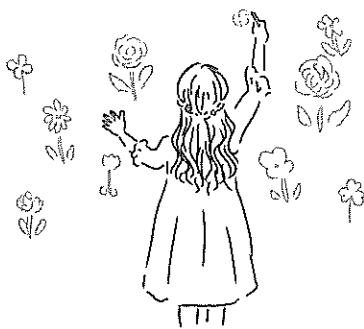
部紹介時のデモ演奏の様子

七月に行われる高校野球県大会の応援が大変心配されるところですが、OB・OGや顧問のサポートも最大限活用しつつ、とにかく現在では応援曲の反復練習に日々コツコツと励んでいます。少数編成で音量が心配されますが、出来る限りの音を響かせるつもりです。少人数の部活動は、ゆる〜くアットホームな雰囲気の中で活動できるのが利点でもあります。ゆったりとした時間が流れる放課後の音楽室で、(時々ゲームに興じていることもありませんが)今日も各々がのんびりと自分のペースで楽器と向き合っています。



美術部

美術部は、現在三年生が一名、一年生が一名の計二名で活動しています。六月は「白山高校生に読んでほしい本」の冊子の挿絵に取り組みました。部活動中は、穏やかな空気の中で、生徒それぞれが活動しています。無心になつて取り組む時間は、多感な年頃の生徒達にとって心のバランスを取る意味でも有意義であることを実感しています。二学期以降は、薬物防止ポスター、交通安全ポスターにも積極的に参加する予定です。十一月には活動の集大成である文化祭があります。自分のペースで好きな作品を作り、さらに活動の幅を広げて意欲的に取り組んでいきたいと思っています。



書道部

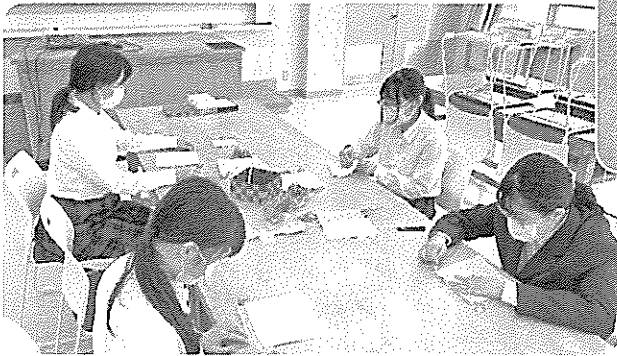
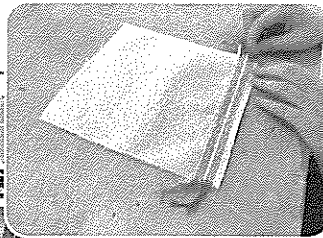
今年度は一年生の入部がなくて残念でしたが、三年生が二名加わり、三名(全員三年生)で活動しています。火曜と木曜の放課後に書道室で練習に励んでいます。

書く題材は書道誌などから探し、自分たちで決めていきます。校内の文化祭までに納得できる作品を仕上げたいと思っています。文化祭では「書作展」を実施し、作品を展示する予定です。私たち三年生にとっては最後の文化祭になるので、多くの方に見ていただければ、幸いです。



家庭部

家庭部は、現在三年生二名、一年生三名の計五名が所属しています。五名全員が今年度から新加入というフレッシュなメンバーで活動しています。



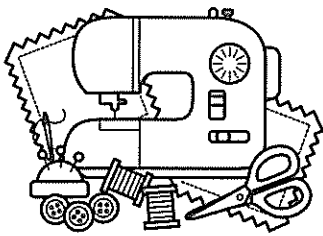
商業部

商業部は、平日の放課後に週一回の活動を目指しています。活動内容は、検定合格を目指して自主的に勉強しています。また、昨年度は地域のイベントに多数出店することができました。産業教育フェア、二〇二四ふれ愛フェスタin白山や家城の文化祭などに参加することができました。各イベントでは自分たちが考えたゲームを小学生相手に説明をして運営をするなど授業ではできない学びの場となりました。

昨年度は、様々な職業体験のために林業体験にも参加をしました。林業の仕事の内容などをレクチャー受

今年度最初に挑戦する作品として、スウェーデン刺繍を選びました。スウェーデン刺繍は、専用の布地(スウェーデンクロス)に、専用の曲がついた針で、布の織目をすくって模様を作る刺繍です。好きな色の刺繍糸を使って刺繍をするので、色の組み合わせによって、それぞれの個性が表現された作品となることも魅力です。繊細で色鮮やかな刺繍が刺し進むにつれ、達成感や感動も大きくなるように、学年を超え、部員同士の時間を楽しみながら、コツコツと取り組んでいます。刺繍が完成しましたら、ミシンを使ってティッシュケースに仕立て、文化祭で展示する予定です。

家庭部では、自分だけのオリジナル作品を作ることの楽しさを感じながら、週に一回の活動を行っています。被服製作は少し難しいところもありますが、今後も文化祭での展示に向けて、少しずつ作品を増やしていきたいです。



昨年度 ふれ愛フェスタにて



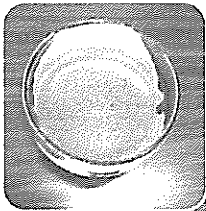
林業体験

昨年度 産業教育フェアにて
大行列の綿菓子屋体験

けて、重機の操縦体験や、ロープワークなど日頃では体験できないようなことを経験し、自分たちの知らない仕事の世界を見ることができました。今後も、各種イベントで白山高校商業部がお邪魔することもあると思います、その際には、どうぞ応援よろしく願います。

茶道部

今年度は、一年生一名、二年生一名、三年生一名の合計三名で活動を始めました。感染症対策で活動が制限された時期が続いておりましたが、少しずつ地域の方とも触れあえる機会ができて始め、いくつかのイベントにも参加させていただいております。茶道に関する知識や経験はさまざまな三名ですが、みんな日本文化の一つである茶道に興味を持ち、一生懸命お稽古に取り組んでおります。茶道の活動を通じ、地域の方々とふれあうことは、一人ひとりが成長できる、とてもよい機会です。今後とも、よろしく願います。



人権サークル

本年度は、三年生三名で人権サークルのメンバーとして活動しています。現在の活動状況は、毎月一回程度、金曜日の放課後に、中勢地区高校生人権活動交流会（中勢地区高校生友の会）に参加しています。他校の生徒のみなさんとの意見交流を行い、活動を充実させているように感じます。他のクラブ活動とのかけもちで活動をしているメンバーもいますが、人権に関する活動の輪が広がるよう、今後も新たなメンバーが増えるのを楽しみにしています。

これからも、多くの人と出逢い、人権について安心して語れる場所での活躍できるよう、期待しています。高校生の今しかできない経験に、みんなでチャレンジしていきます。

